

業況 DI は 8.3 ポイントの上昇

~令和2年10-12月期中小企業景気動向調査結果~

公益財団法人神奈川産業振興センター (KIP) では、四半期ごとに県内中小企業の景気動向等を把握するため、県内中小企業2,000 社を対象とした「中小企業景気動向調査」を実施しています。

令和2年10-12月期の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

◇要 旨

- 1. 総合の業況 DI は、前期比 8.3 ポイント上昇の▲54.3 となりました。 経営状況では、売上 DI は前期比 13.4 ポイント上昇の▲35.1、また、採算 DI は同 10.1 ポイント上昇の▲35.7 となりました。
- 2. 業種別の業況 DI では、製造業は前期比 13.0 ポイント上昇の \blacktriangle 61.4 となりました。中分類では、一般機械は同 13.3 ポイント上昇の \blacktriangle 67.4、電気機械は同 17.5 ポイント上昇の \blacktriangle 52.4、輸送用機械は同 12.4 ポイント上昇の \blacktriangle 61.7 となりました。

建設業の業況 DI は、前期比 1.8 ポイント上昇の▲22.6 となりました。

商業・サービス業の業況 DI は、前期比 6.8 ポイント上昇の $\triangle 57.4$ となりました。中分類では、卸売業は同 2.3 ポイント上昇の $\triangle 64.4$ 、小売業は同 8.1 ポイント上昇の $\triangle 56.5$ 、飲食店は同 13.9 ポイント上昇の $\triangle 67.2$ 、サービス業は同 4.0 ポイント上昇の $\triangle 48.9$ となりました。

- 3. 今後の総合の業況 DI を見ると、3 か月後は現在比 2.5 ポイント低下の▲56.8、半年後は同 0.5 ポイント低下の▲54.8 を見込んでおり、緩やかに上昇するとの見方が広がっています。 ただし、建設業については3か月後6.9 ポイント低下、6 か月後21.3 ポイント低下と厳しい 見通しとなっています。
- 4. 「前期(令和2年7月~9月)が大きく落ち込んでおり、それと比較すると多少引き合いの話は出て来たが、黒字化の目途は立っていない。販路の拡大とコスト削減に注力している状況」「市のプレミアム商品券の利用が多いので、そちらの効果が得られた」といった前期に比べれば上昇した声の一方、「コロナ禍の中、次年度以降の公共工事予算減が気になります。民間投資が冷え込み、経営の不安感は増大」「新型コロナの影響で、売上・客数ともに増えたが、今後の経済低迷が心配。かなり厳しくなる」といった3か月後、半年後が不安な声も聞こえました。

▼本件に関するお問い合わせ先 (公財)神奈川産業振興センター(KIP)

(**K**anagawa **I**ndustrial **P**romotion Center) 事業部経営総合相談課 小菅

TEL 045-633-5201 FAX 045-633-5194

URL https://www.kipc.or.jp/ E-mail:soudan@kipc.or.jp



令和2年10-12月期中小企業景気動向調査結果 業況DIは8.3ポイントの上昇

公益財団法人神奈川産業振興センター (KIP) が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和2年10-12月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

·調 杳 時 期: 令和2年11月

・調 査 対 象:神奈川県内中小企業2,000社

・回答数 (率): 1,041社(52.1%) ※詳細は下記の通り

・調 査 方 法:調査対象へ郵送

・分析方法:DI (Diffusion Index) ※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率(%)
製造業	550	362	65.8%
建設業	250	133	53.2%
商業・サービス業 (卸売業、小売業、飲食店、サービス業)	1, 200	546	45.5%
合計	2,000	1, 041	52.1%

2. 調査結果

(1) 総合

		令和		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲ 35. 4	▲ 62. 1	▲ 62.6	▲ 54. 3	▲ 56. 8	▲ 54.8
売上DI	▲ 35. 0	▲ 66. 7	▲ 48. 5	▲ 35. 1		_
採算DI	▲ 35. 1	▲ 58. 4	▲ 45.8	▲ 35. 7	_	_

総合の業況DIは、前期比8.3ポイント上昇の▲54.3となった。

経営状況では、売上DIは前期比13.4ポイント上昇の▲35.1、また、採算DIは同10.1ポイント上昇の▲35.7となった。

今後の業況DIを見ると、3か月後は現在比2.5ポイント低下の▲56.8、半年後は同0.5ポイント低下の▲54.8を見込んでいる。

(2) 業種別特徴

<製造業>

で世末と		令和		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲ 39. 4	▲ 64. 0	▲ 74. 4	▲ 61. 4	▲ 60. 2	▲ 52.6
売上DI	▲ 36. 3	▲ 74. 9	▲ 65. 2	▲ 30. 2	ı	_
採算DI	▲ 36. 4	▲ 64. 0	▲ 62. 2	▲ 32. 5	_	_

製造業の今期の業況DIは、前期比13.0ポイント上昇の▲61.4となった。

経営状況では、売上DIは、前期比35.0ポイント上昇の▲30.2、採算DIは同29.7ポイント上昇の▲32.5となった。

「新型コロナウイルス感染防止を徹底し、感染者0人で通常営業しています。取引先の企業で、感染者が出ている関係で、負荷調整で、当社に発注が来るケースもあります。(売上増加。)」「5月~8月まで、前年比50%~70%で推移していたが、9月、10月は、前年並みに回復。海外輸出(主に中国・台湾・ベトナム)が好調なるも、国内需要は低迷。」「前期(令和2年7月~9月)が、大きく落ち込んでおり、それと比較すると多少引き合いの話は出て来たが、黒字化の目途は立っていない。販路の拡大とコスト削減に注力している状況。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比1.2ポイント上昇の▲60.2、半年後は同8.8ポイント上昇の▲52.6を見込んでおり、「年内一杯はかなり厳しいが、年明けからの受注が増えており、景気の底は年内一杯だと思う。」「引き合い件数、受注量共に、増加してくると思われる。受注単価についても、徐々に正規の価格になってくると思う。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

		令和		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
一般機械	▲ 39. 3	▲ 63. 0	▲ 80. 7	▲ 67.4	▲ 62.8	▲ 55.8
電気機械	▲ 32. 4	▲ 53. 2	▲ 69. 9	▲ 52.4	▲ 54. 3	▲ 45. 6
輸送用機械	▲ 47. 5	▲ 83. 3	▲ 74. 1	▲ 61. 7	▲ 50.8	▲ 45.8
その他	▲ 39. 7	▲ 62. 3	▲ 73. 5	▲ 62.8	▲ 66. 4	▲ 57. 9

中分類で見ると、一般機械は前期比13.3ポイント上昇の▲67.4、電気機械は同17.5ポイント上昇の▲52.4、 輸送用機械は同12.4ポイント上昇の▲61.7となった。

今後の業況DIは、3か月後は一般機械が現在比4.6ポイント上昇の \blacktriangle 62.8、電気機械が同1.9ポイント低下の \blacktriangle 54.3、輸送用機械は同10.9ポイント上昇の \blacktriangle 50.8、半年後は一般機械が同11.6ポイント上昇の \blacktriangle 55.8、電気機械が同6.8ポイント上昇の \blacktriangle 45.6、輸送用機械は同15.9ポイント上昇の \blacktriangle 45.8を見込んでいる。

<建設業>

		令和		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	11.5	▲ 25. 6	▲ 24. 4	▲ 22. 6	▲ 29. 5	▲ 43. 9
売上DI	▲ 4. 1	▲ 52. 1	▲ 28. 2	▲ 14. 4		_
採算DI	▲ 6. 6	▲ 43. 0	▲ 22.3	▲ 24.8	_	_

建設業の今期の業況DIは、前期比1.8ポイント上昇の▲22.6となった。

経営状況では、売上DIは前期比13.8ポイント上昇の▲14.4、採算DIは同2.5ポイント低下の ▲24.8となった。

「コロナ禍の中、次年度以降の公共工事予算減が気になります。民間投資が冷え込み、経営の 不安感は増大してます。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比6.9ポイント低下の▲29.5、半年後は同21.3ポイント低下の▲43.9を見込んでおり、「公共事業な主なので、4月以降の会計年度は減ると思われるため、悪化する。人材は、人気のないこの業界にも流れてきつつあるので、定着してほしいです。」「前事業年度末の受注残に支えられた好業績ですが、12月以降は、下降線になります。」といった声も聞かれた。

<商業・サービス業>

		令和		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲ 43. 6	▲ 68. 7	▲ 64. 2	▲ 57. 4	▲ 61. 4	▲ 59. 0
売上DI	▲ 41. 5	▲ 64. 5	▲ 42. 3	▲ 43. 4		_
採算DI	▲ 41. 0	▲ 58. 1	▲ 40. 7	▲ 40. 6	_	_

商業・サービス業の業況DIは、前期比6.8ポイント上昇の▲57.4となった。

経営状況では、売上DIは前期比1.1ポイント低下の▲43.4、採算DIは同0.1ポイント上昇の▲40.6となった。「少しずつ消費者の収入減が始まっているのを感じる。扱い商品が生活に根差しているので、激減ではないが。」「コロナ禍により、業界全体が悪化している、現状は、GoToトラベルに市場を取られ、買物ムードではない。」「市のプレミアム商品券の利用が多いので、そちらの効果が得られた。」「コロナの影響で、夏場はアウトドア関連品が良く売れたが、それも一段落し、冬場は売上が減る恐れがある。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比4.0ポイント低下の▲61.4、半年後は同1.6ポイント低下の▲59.0を見込んでいる。「平日の人通りが非常に少ない。GoToトラベルなどやっているが、この商店街ではとても少ないようです。今後の見通しは、全く分からない。」「新型コロナの影響で、売上・客数ともに増えたが、今後の経済低迷が心配。かなり厳しくなる。」「政府のコロナ対策があり、資金繰りは何とかなっていますが、雇用助成金の終わる来年以降の見通しは厳しいと見ています。」「客数が増えないと、状況は変わらない。新規顧客獲得のための宣伝広告が重要。SNSも積極的に活用していく方向。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

2040 / 1417/	(
		令和		令和3年							
	1-3月期 4-6月期 7-		7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込					
卸売業	▲ 44. 0	▲ 68. 5	▲ 66. 7	▲ 64. 4	▲ 73. 3	▲ 63. 6					
小売業	▲ 56.8	▲ 75. 0	▲ 64. 6	▲ 56. 5	▲ 59. 7	▲ 60. 4					
飲食店	▲ 55. 0	▲ 97. 2	▲ 81. 1	▲ 67. 2	▲ 68.8	▲ 68. 3					
サービス業	▲ 17.3	▲ 44. 5	▲ 52. 9	▲ 48. 9	▲ 51. 9	▲ 48. 9					

業種別では、卸売業は前期比2.3ポイント上昇の \blacktriangle 64.4、小売業は同8.1ポイント上昇の \blacktriangle 56.5、飲食店は同13.9ポイント上昇の \blacktriangle 67.2、サービス業は同4.0ポイント上昇の \blacktriangle 48.9 となった。

今後の業況DIは、3か月後では卸売業が現在比8.9ポイント低下の \triangle 73.3、小売業は同3.2 ポイント低下の \triangle 59.7、飲食店は同1.6ポイント低下の \triangle 68.8、サービス業は同3.0ポイント低下の \triangle 51.9、半年後では卸売業が同0.8ポイント上昇の \triangle 63.6、小売業は同3.9ポイント低下の \triangle 60.4、飲食店は同1.1ポイント低下の \triangle 68.3、サービス業は今期と同じ \triangle 48.9を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

			令和		令和	13年	
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
中	業況DI	▲ 32. 5	▲ 59. 0	▲ 59. 3	▲ 51. 7	▲ 54. 4	▲ 49. 5
規模	売上DI	▲ 27.9	▲ 62. 6	▲ 42. 5	▲ 30. 6		_
模	採算DI	▲ 33. 6	▲ 56. 5	▲ 40. 7	▲ 30. 2		_
小	業況DI	▲38.6	▲ 65. 7	▲ 66.6	▲ 57. 6	▲ 59.8	▲ 61. 4
規模	売上DI	▲ 42. 9	▲ 71. 3	▲ 55. 4	▲ 40. 6		_
模	採算DI	▲ 36. 9	▲ 60. 5	▲ 51.8	▲ 42. 5	_	_

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比7.6ポイント上昇の▲51.7、小規模企業は同9.0 ポイント上昇の▲57.6となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比11.9ポイント上昇の▲30.6、採算DIが同10.5 ポイント上昇の▲30.2、小規模企業は売上DIが同14.8ポイント上昇の▲40.6、採算DIが同9.3 ポイント上昇の▲42.5となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3か月後が現在比2.7ポイント低下の \blacktriangle 54.4、半年後が同2.2ポイント上昇の \blacktriangle 49.5、小規模企業は3か月後が同2.2ポイント低下の \blacktriangle 59.8、半年後が同3.8ポイント低下の \blacktriangle 61.4を見込んでいる。

(4) 地区別特徵(業況DI)

		令和	12年		令和3年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込	
横浜	▲ 31. 7	▲ 64. 6	▲ 63.8	▲ 56. 1	▲ 60. 1	▲ 57. 7	
川崎	▲ 27. 2	▲ 47. 1	▲ 55. 0	▲ 46. 6	▲ 48. 5	▲ 46. 6	
横須賀	▲ 46. 0	▲ 56. 1	▲ 50. 0	▲ 56. 9	▲ 61. 6	▲ 58. 6	
平塚	▲ 33. 7	▲ 63. 2	▲ 63. 1	▲ 67.3	▲ 67. 0	▲ 62. 0	
藤沢	▲ 44. 2	▲ 64. 9	▲ 65. 3	▲ 42.5	▲ 41. 7	▲ 44. 7	
相模原	▲ 34. 4	▲ 58.8	▲ 68. 3	▲ 64. 2	▲ 69. 5	▲ 65. 3	
厚木	▲ 26. 9	▲ 67. 2	▲ 61. 1	▲ 41. 7	▲ 40. 7	▲ 41.8	
足柄上·西湘	▲ 48. 1	▲ 74.8	▲ 75. 5	▲ 61.2	▲ 66. 0	▲ 62. 1	

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区(前期比7.7ポイント上昇の▲56.1)、川崎地区(同8.4ポイント上昇の▲46.6)、横須賀地区(同6.9ポイント低下の▲56.9)、平塚地区(同4.2ポイント低下の▲67.3)、藤沢地区(同22.8ポイント上昇の▲42.5)、相模原地区(同4.1ポイント上昇の▲64.2)、厚木地区(同19.4ポイント上昇の▲41.7)、足柄上・西湘地区(同14.3ポイント上昇の▲61.2)となり6地区で上昇し、2地区で低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区(現在比4.0ポイント低下の▲60.1)、川崎地区(同1.9ポイント低下の▲48.5)、横須賀地区(同4.7ポイント低下の▲61.6)、平塚地区(同0.3ポイント上昇の▲67.0)、藤沢地区(同0.8ポイント上昇の▲41.7)、相模原地区(同5.3ポイント低下の▲69.5)、厚木地区(同1.0ポイント上昇の▲40.7)、足柄上・西湘地区(同4.8ポイント低下の▲69.5)、上午後6.0)となり3地区で上昇し、5地区で低下すると見込んでいる。半年後は、

横浜地区 (現在比1.6ポイント低下の \blacktriangle 57.7) 、川崎地区 (今期と同じ \blacktriangle 46.6) 、横須賀地区 (同1.7ポイント低下の \blacktriangle 58.6) 、平塚地区 (同5.3ポイント上昇の \blacktriangle 62.0) 、藤沢地区 (同2.2ポイント低下の \blacktriangle 44.7) 、相模原地区 (同1.1ポイント低下の \blacktriangle 65.3) 、厚木地区 (同0.1ポイント低下の \blacktriangle 41.8) 、足柄上・西湘地区 (同0.9ポイント低下の \blacktriangle 65.1) となり1地区で上昇し、1地区で前期と同じ、6地区で低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

(公財) 神奈川産業振興センター (KIP)

(Kanagawa Industrial Promotion Center) 事業部経営総合相談課 小菅

TEL:045-633-5201 FAX:045-633-5194

URL https://www.kipc.or.jp/ E-mail:soudan@kipc.or.jp

景気動向調査 (令和2年10月~12月期)

業種別DI表

		Harl Sel Sile	74 78 VIII		商業	・サービス	業		(1) (
		製造業	建設業	卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	総合
	回収数	362	133	104	238	67	137	546	1,041
業	現在の業況	▲ 61. 4	▲ 22. 6	▲ 64. 4	▲ 56. 5	▲ 67. 2	▲ 48. 9	▲ 57. 4	▲ 54. 3
業況判	3ヶ月後の業況	▲ 60. 2	▲ 29. 5	▲ 73. 3	▲ 59. 7	▲ 68. 8	▲ 51. 9	▲ 61. 4	▲ 56.8
断	半年後の業況	▲ 52. 6	▲ 43. 9	▲ 63. 6	▲ 60. 4	▲ 68. 3	▲ 48. 9	▲ 59. 0	▲ 54.8
経	売上 採算 引き合い/客数	▲30. 2 ▲32. 5 ▲25. 9	▲14. 4 ▲24. 8 ▲28. 6	▲47. 1 ▲46. 6 ▲34. 0	▲46.6 ▲40.8 ▲43.2	▲40.3 ▲35.8 ▲41.8	▲36. 5 ▲38. 0 ▲25. 5	▲43. 4 ▲40. 6 ▲36. 8	▲35. 1 ▲35. 7 ▲32. 0
経営状況	単価 仕入価格 資金繰り 残業 設備稼働	▲17. 5 ▲20. 1 ▲35. 9 ▲34. 9 ▲31. 4	▲13. 5 ▲20. 5 ▲5. 3 ▲25. 6 ▲16. 7	▲31. 4 ▲26. 9 ▲40. 4 ▲24. 5	▲32.8 ▲34.6 ▲30.7 ▲32.3	▲19. 4 ▲32. 8 ▲31. 3 ▲44. 6	▲13. 9 ▲22. 5 ▲26. 5 ▲33. 6	▲26. 1 ▲30. 0 ▲31. 6 ▲32. 6	▲21. 5 ▲25. 3 ▲29. 7 ▲32. 5 ▲27. 6
前期経営実績	売上水準 利益水準 在庫 投資 雇用状況	▲57. 7 ▲38. 1 14. 5 ▲20. 7 11. 1	▲24. 1 ▲1. 5 1. 6 ▲10. 0 ▲31. 6	▲62. 1 ▲30. 8 16. 7 ▲14. 9 ▲2. 0	▲55. 0 ▲37. 8 3. 8 ▲16. 3 ▲3. 0	▲70.1 ▲56.7 0.0 ▲33.3 1.5	▲43.8 ▲28.5 ▲4.1 ▲8.7 ▲6.1	▲55. 4 ▲36. 4 4. 0 ▲16. 3 ▲3. 0	▲52. 2 ▲32. 6 7. 4 ▲17. 1 ▲1. 8

参考く前回調査> 景気動向調査

		Heat wat with	-1 >!!.		商業	・サービス	業		
		製造業	建設業	卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	総合
	回収数	352	131	96	231	75	139	541	1,024
業	現在の業況	▲ 74. 4	▲ 24. 4	▲ 66. 7	▲ 64. 6	▲ 81. 1	▲ 52. 9	▲ 64. 2	▲ 62. 6
業況判断	3ヶ月後の業況	▲ 77. 9	▲ 36. 2	▲ 73. 7	▲ 70. 4	▲ 87.8	▲ 33. 6	▲ 63. 9	▲ 65. 3
断	半年後の業況	▲ 67. 0	▲ 40. 9	▲ 69. 1	▲ 72. 5	▲ 87. 7	0.0	▲ 56. 8	▲ 58. 3
	売上	▲ 65. 2	▲ 28. 2	▲ 55. 2	▲ 48. 5	▲ 53. 3	▲ 14. 4	▲ 42. 3	▲ 48. 5
	採算	▲ 62. 2	▲ 22. 3	▲ 53. 1	▲ 47. 4	▲ 54. 7	▲ 12. 1	▲ 40. 7	▲ 45. 8
文文	引き合い/客数	▲ 59. 0	▲ 34. 4	▲ 37. 9	▲ 47. 4	▲ 53. 3	▲ 52. 2	▲ 47.8	▲ 50. 0
経営状況	単価	▲ 24. 8	▲ 5.4	▲ 35.8	▲ 40. 1	▲ 40. 0	▲ 60. 6	▲ 44. 6	▲ 32. 7
状	仕入価格	▲ 21. 2	▲ 17.8	▲ 22. 3	▲ 30. 6	▲ 45. 9	▲ 60. 0	▲ 38. 7	▲ 30. 0
况	資金繰り	▲ 46. 9	▲ 10. 0	▲ 40. 0	▲ 38. 6	▲ 56. 8	▲ 49. 6	▲ 44. 2	▲ 40. 7
	残業	▲ 57. 7	▲ 22. 5	▲ 39.8	▲ 30. 9	▲ 59. 7	▲ 44. 9	▲ 40. 1	▲ 44. 0
	設備稼働	▲ 58. 5	▲ 18. 5	_	_		_	_	▲ 48. 0
前	売上水準	▲ 69. 3	▲ 29. 0	▲ 70. 5	▲ 62. 3	▲ 92. 0	▲ 35. 5	▲ 61. 0	▲ 59.8
期	利益水準	▲ 43. 5	▲ 9.9	▲ 45. 3	▲ 46. 1	▲ 78. 7	▲ 31. 2	▲ 46. 7	▲ 40.8
栓量	在庫	12. 1	▲ 1. 7	21.7	5. 2	9. 7	▲ 22. 2	1.7	4. 9
前期経営実績	投資	▲ 29. 7	▲ 11. 5	▲ 20. 4	▲ 23. 1	▲ 30. 6	▲ 29. 9	▲ 25. 4	▲ 25. 2
績	雇用状況	19.5	▲ 30. 2	5. 4	▲ 1.8	15. 1	▲ 32. 4	▲ 6. 1	▲ 0.3

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		192	170	69	64	310	236	571	470
業況判断	現在の業況 3ヶ月後の業況 半年後の業況	▲ 57. 1 ▲ 56. 3 ▲ 43. 9	▲66. 3 ▲64. 6 ▲62. 7	▲27.5 ▲39.1 ▲46.4	▲17. 2 ▲19. 0 ▲41. 3	▲ 53. 7 ▲ 56. 8 ▲ 53. 7	▲62. 3 ▲67. 4 ▲65. 9	▲ 51. 7 ▲ 54. 4 ▲ 49. 5	▲ 57. 6 ▲ 59. 8 ▲ 61. 4
経営状況	売上 採引き合い/客数 単価 仕入価格 資業 設備稼働	▲22.9 ▲24.5 ▲19.9 ▲13.0 ▲18.2 ▲28.6 ▲27.6 ▲23.6	▲38. 5 ▲41. 7 ▲32. 7 ▲22. 5 ▲22. 2 ▲44. 3 ▲43. 2 ▲40. 2	▲20.3 ▲26.1 ▲31.9 ▲23.2 ▲10.3 ▲7.2 ▲29.0 ▲18.2	▲7.9 ▲23.4 ▲25.0 ▲3.1 ▲31.3 ▲3.1 ▲21.9 ▲15.0	▲37. 7 ▲34. 6 ▲33. 9 ▲20. 6 ▲27. 1 ▲28. 2 ▲33. 1	▲50. 8 ▲48. 3 ▲40. 8 ▲33. 3 ▲36. 0 ▲32. 0	▲30. 2 ▲28. 9 ▲18. 4 ▲22. 0 ▲25. 8	▲40. 6 ▲42. 5 ▲35. 7 ▲25. 3 ▲29. 2 ▲34. 5 ▲34. 7 ▲33. 6
前期経営実績	売上水準 利益水準 在庫 投資 雇用状況	▲54. 2 ▲30. 7 18. 9 ▲20. 0 16. 1	▲61.8 ▲46.5 9.3 ▲21.6 5.3	▲30. 4 5. 8 ▲1. 5 ▲17. 6 ▲29. 0	▲17. 2 ▲9. 4 5. 3 ▲1. 6 ▲34. 4	▲48. 1 ▲29. 0 2. 0 ▲10. 7 ▲4. 0	▲65. 1 ▲46. 2 6. 5 ▲23. 7 ▲1. 8	7. 4 ▲14. 7	▲57. 4 ▲41. 3 7. 3 ▲19. 9 ▲3. 7

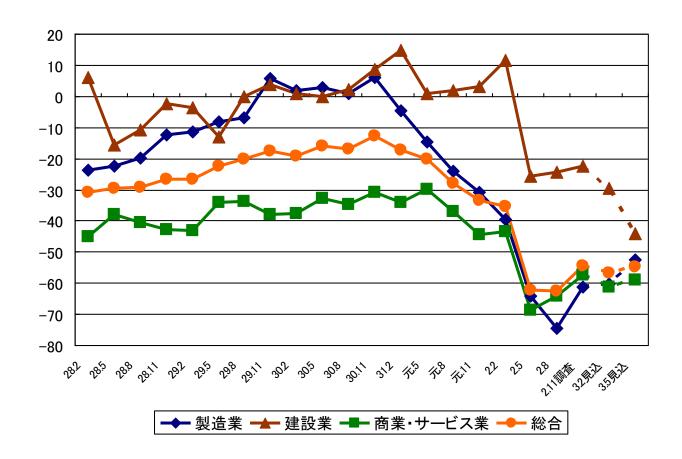
地区別DI表

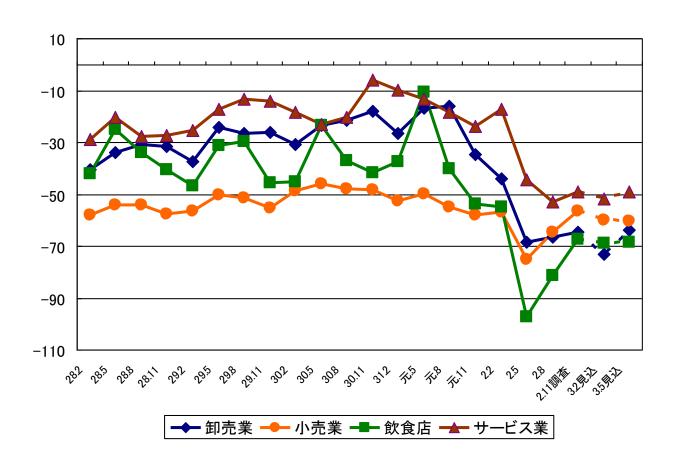
		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上·西湘	総合
	回収数	286	134	102	104	106	96	115	98	1,041
次 、	現在の業況	▲ 56. 1	▲46. 6	▲ 56. 9	▲67. 3	▲42. 5	▲64. 2	▲41. 7	▲ 61. 2	▲ 54. 3
	3ヶ月後の業況	▲ 60. 1	▲48. 5	▲ 61. 6	▲67. 0	▲41. 7	▲69. 5	▲40. 7	▲ 66. 0	▲ 56. 8
	半年後の業況	▲ 57. 7	▲46. 6	▲ 58. 6	▲62. 0	▲44. 7	▲65. 3	▲41. 8	▲ 62. 1	▲ 54. 8
経営状況	売上	▲40. 0	▲28. 4	▲31. 4	▲38. 5	▲34. 0	▲47. 9	▲27. 2	▲28. 6	▲35. 1
	采算	▲38. 7	▲26. 1	▲32. 4	▲42. 3	▲32. 4	▲53. 1	▲27. 8	▲32. 7	▲35. 7
	別き合い/客数	▲40. 2	▲26. 1	▲25. 7	▲41. 3	▲27. 9	▲44. 8	▲16. 7	▲21. 9	▲32. 0
	単価	▲20. 7	▲22. 4	▲22. 5	▲32. 0	▲21. 9	▲21. 9	▲16. 5	▲15. 3	▲21. 5
	士入価格	▲26. 2	▲20. 5	▲24. 2	▲24. 0	▲31. 4	▲22. 1	▲19. 3	▲35. 1	▲25. 3
	資金繰り	▲26. 5	▲25. 4	▲31. 4	▲38. 5	▲30. 5	▲43. 8	▲19. 1	▲31. 6	▲29. 7
	残業	▲36. 7	▲33. 8	▲26. 7	▲27. 2	▲25. 7	▲43. 2	▲27. 2	▲33. 7	▲32. 5
	設備稼働	▲31. 1	▲28. 4	▲12. 5	▲17. 4	▲25. 5	▲39. 6	▲25. 0	▲31. 7	▲27. 6
期経営実	売上水準	▲54. 2	▲47. 0	▲50.0	▲60. 6	▲42.5	▲56. 8	▲40.9	▲66.3	▲52. 2
	可益水準	▲31. 5	▲24. 6	▲29.4	▲46. 2	▲27.4	▲38. 5	▲20.0	▲50.0	▲32. 6
	玍庫	13. 1	5. 4	3.1	5. 0	1.9	15. 8	0.9	6.5	7. 4
	投資	▲15. 8	▲14. 5	▲6.1	▲22. 3	▲22.6	▲26. 3	▲13.4	▲18.8	▲17. 1
	雇用状況	0. 0	▲8. 2	▲7.1	▲2. 9	▲1.9	10. 6	▲5.3	1.0	▲1. 8

製造業中分類別DI表

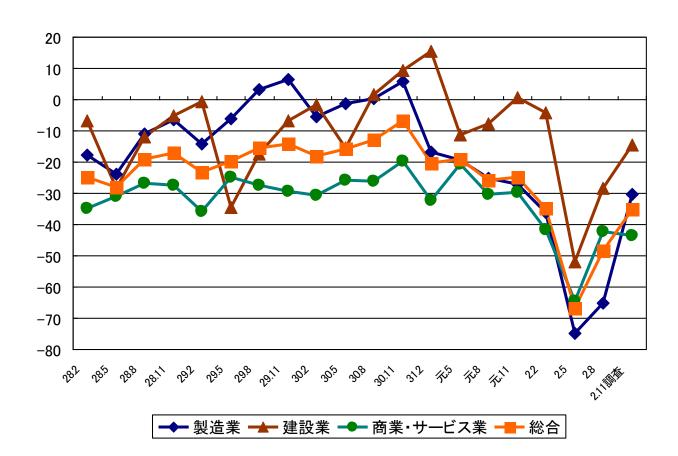
		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合				
	回収数	89	82	60	131	362				
業況判断	現在の業況	▲67. 4	▲ 52. 4	▲61.7	▲62.8	▲61. 4				
	3ヶ月後の業況	▲62. 8	▲ 54. 3	▲50.8	▲66.4	▲60. 2				
	半年後の業況	▲55. 8	▲ 45. 6	▲45.8	▲57.9	▲52. 6				
経営状況	売上	▲34.8	▲22. 0	▲15. 0	▲39. 2	▲30. 2				
	採算	▲43.8	▲29. 3	▲28. 8	▲28. 5	▲32. 5				
	引き合い/客数	▲25.8	▲28. 0	▲13. 8	▲30. 0	▲25. 9				
	単価	▲18.0	▲9. 8	▲18. 6	▲21. 4	▲17. 5				
	仕入価格	▲20.2	▲22. 2	▲13. 8	▲21. 4	▲20. 1				
	資金繰り	▲34.8	▲29. 3	▲30. 5	▲43. 4	▲35. 9				
	残業	▲39.3	▲25. 6	▲30. 5	▲39. 7	▲34. 9				
	設備稼働	▲38.6	▲31. 7	▲5. 1	▲38. 2	▲31. 4				
前期経営実績	売上水準	▲65. 2	▲45. 1	▲58. 3	▲60. 3	▲57. 7				
	利益水準	▲46. 1	▲26. 8	▲38. 3	▲39. 7	▲38. 1				
	在庫	7. 2	16. 0	13. 8	18. 6	14. 5				
	投資	▲26. 4	▲13. 6	▲15. 3	▲23. 8	▲20. 7				
	雇用状況	9. 0	12. 3	18. 3	8. 4	11. 1				

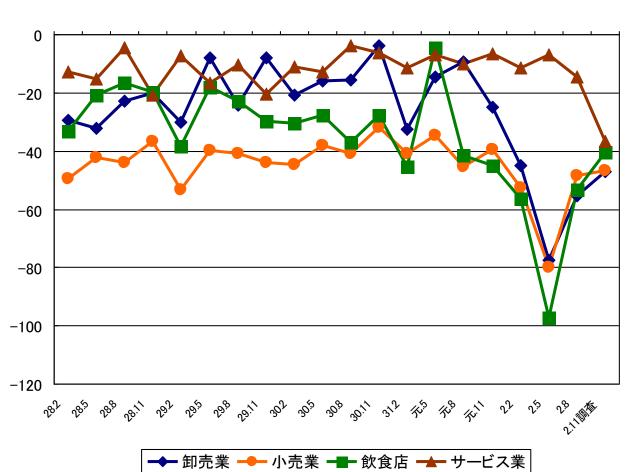
業況DIの推移



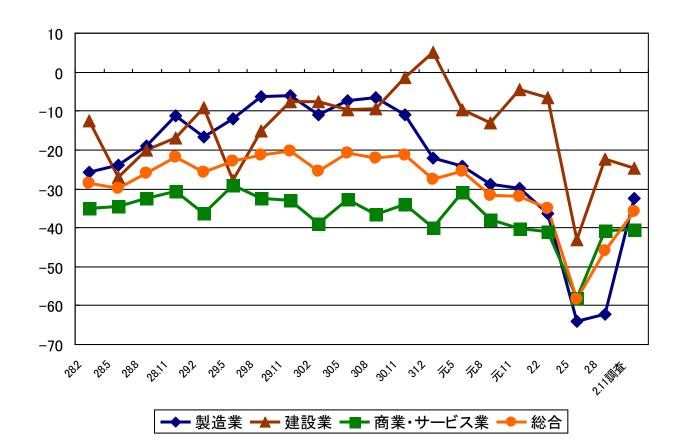


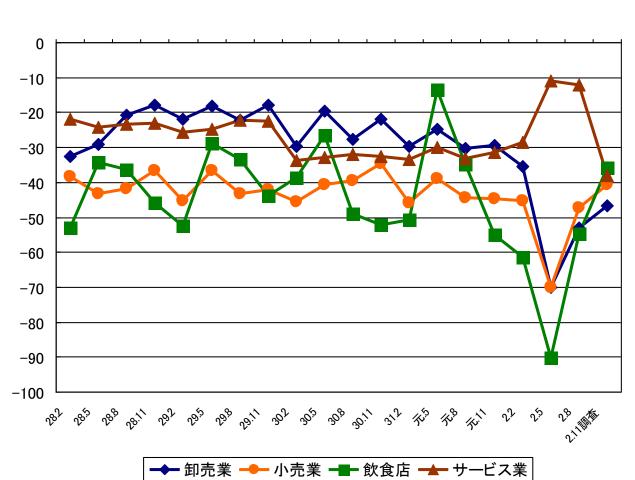
売上DIの推移



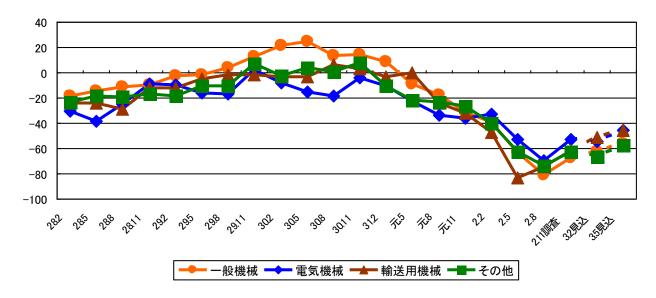


採算DIの推移

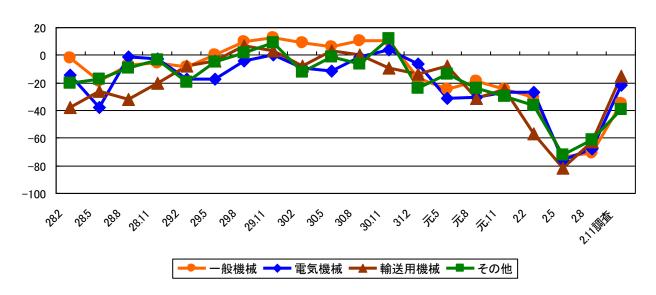




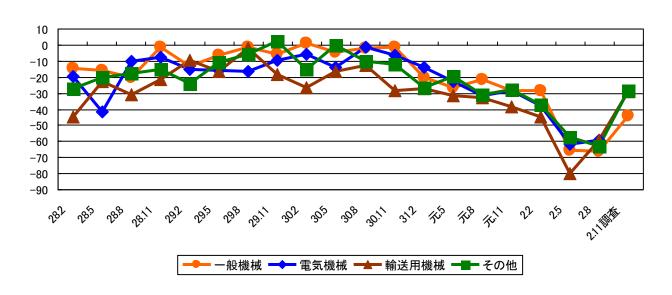
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

「一時の低迷は脱した感あり。今月に入って、引き合い、受注増。来年1月くらいまでは続きそうな気配だが、 気が抜けない。」

「コロナの影響も以前よりは落ち着いてきました。来年はオリンピック、パラリンピックもあり、春先から景 気が回復すると思います。ただし、これからの冬に若干不安も感じています。」

「12月までは、受注残の工事量で、売上自体は変わらないが、7~9月までの受注量が減少してきたので、年明 け以降の売上、損益が厳しくなってくるものと思われる。」

「一番のお得意先様からの受注は増えているものの、コロナの影響で輸出がストップしている関係で、毎月 あった受注先からの注文はなくなった。引き合いは増えている様に思えるが、受注にはつながりにくい。」

「輸出関係部品が少しずつ回復してきていますが、前年と比べてもまだまだ受注は減少したままの状態です。 設備投資をすれば、売上を増加する事は分かっていますが、現状では設備投資出来る余裕がありません。」

「10月までは何とか利益が出ている状況であったが、11月以降の見通しが判らない。急に注文の入りが悪くなり、稼働状況も落としている。売上が半分にはならないので、持続化給付金がもらえない。持続化給付金を売 上が7割位でも支給してほしい。」

「コロナの影響で、イベントが中止になり、チラシ・プログラム・案内状等の印刷物が超激減。今後この様な 状況が続くようであれば、経営にも支障をきたしかねない。」

「見積もりは多いが、受注量が減っている。今後も不安が続く。」

「北米国の販売が、コロナの為好調。今後、半年位は、良い状況が続く様子。小物、家廻りの園芸機器(小型 エンジン機械)の部品製造なので、この業種は好調のようです。」

「新型コロナの影響で、お客様もエンドユーザーとの仕様打ち合わせ等できず、受注が出来ないとの事。ほん の少し注文が戻ってきた感じはあるが、まだまだです。」

「徐々に回復の見通しはあるものの、不透明感はある。」

「上半期4月~7月は、売上が大幅ダウンしたが、8月~10月で回復をしました。11月から年内は、受注ありますが、年明けの様子がはっきりしない状態です。」

「コロナウイルスの影響で、4月から減速していたが、10月にかけて徐々に持ち直している。ただし、ハイシーズンは終わったので、売上高は、あまり期待できない。」

<建設業>

「令和3年度が、税不足により、経済縮小になって行くのが心配です。」

「コロナの影響で、官公庁の仕事が減ってくると思う。来年から数年間は厳しい状況が続くと思われます。」

「来年4月以降どうなるか予想がつかない。民間工事は、コロナで受注が減少する?。」

「今年度は、公共事業が例年に比べて多いが、来年にコロナウイルス対策費を使ったので、一気に減る可能性 がかなり高い。」

「少しずつリフォームなどが増えてきました。持続化給付金で資金繰りも大変助かっています。」

「コロナの影響で、官公庁の発注の件数が減少する可能性があると思われる。売上高等に影響あり。」

「コロナの影響で、今後の見通しがつかず、終息が遅れると非常事態になりかねない。雇用助成金の延期を 2021年3月末まで切に望む。」

「雇用が不足しているが、売上が上がらなければ、仕事にならない。色々なメーカーから仕事をもらうように シフトしている。工夫するしかない。」

「コロナウイルスの影響により、民間工事が減少し、公共工事への依存度が高まり、競争が激化する傾向が予 測され、来年に向けても、経営状況は厳しい見込み。」

「公共工事の受注が多くあり、順調です。」

「公共工事の入札も受注することが難しい。民間においてもコロナの影響で、引き合いも減少しているので、 手持受注工事を大事に見つめ直し考えている。」

<卸売業>

「車の潤滑油等、メンテナンス商品を取り扱っていますが、コロナ禍で、人の移動が車になっているためか、 思った程の落ち込みはない。」

「外国人向け、土産製造卸業。今年度売上無し。」

「コロナ対策関連部品の受注が多い。」

「オリンピック開催の有無が、弊社売上に直結する。」

「コロナによる影響。最悪から少しは良くなっている(製造業)。非鉄金属製品受注アップ(電子部品)。」

「単価の値下げ、手術の延期等、医療事情の変化により、売上減少。コロナ禍による。」

「今後の見通しは不透明です。特に、令和3年4月以降の官庁については、税収減が見込まれており。リスク大 です。」

「高額商品は、先行き不調。一方、低額商品は伸びている。先行き不明。」

「イベントが無いので3月から在庫が減らない。」

「弊社の業績不調の要因は、コロナの影響も大きいが、それだけでなく、回転資金不足で営業ピーアール活動 の縮小などもありますが、来年からはウィズコロナの環境変化に適した経営を模索しながら、苦境を打開する よう頑張っています。」

<小売業>

「コロナによる内食の増加で、野菜が好調ですが、天候不順で果物が不作になり、高値となってしまったため、動きが悪いです。」

「箱根登山電車開通、富士屋ホテルの再開と、状況は戻ったのですが、GoToキャンペーンが不安定で、特に売 上が良くなったようには思えません。コロナの影響は大きすぎます。」

「コロナのためか、家での消費が多い。そのため、生菓子の売上が上がっている。焼き菓子は、多少売り上げ が落ちている。いつまで続くか?。」

「新型コロナ騒ぎにより、外出を控え、ガーデニングや家庭菜園、お墓参り等、身近で時間を費やす人が増え た事により、売上が増加していると思われます。」

「販売方法をコロナ禍に応じたスタイルにする必要があり、そのための費用が増える。また集客もこれまでとは手法を変えなくてはならず、どうなるかはまだよく分からない。」

「川崎市の中小企業経済対策による、地域振興券を使用されるお客様が増加している。大手では使用できない 為と思われる。一方、資金化に時間がかかる為、資金繰りに影響もある。」

「コロナ感染予防商品の予想外の引き合いで、売上に寄与した結果、売上は伸びたが、今後、企業の仕事改革 で文具等の需要低迷が心配である。」

「現状は、コロナ以前の状況に戻りつつあるが、今後の状況は、見通しが立たない。」

「御中元、御歳暮が忙しいのですが、今年は御中元もあまり良くありませんでした。御歳暮もどうなるか例年 通りとはいかないと思います。」

「来店客数の減少による売上減少分を、ネット通販でカバーしているが、先行きが全く見えず、不安であ る。」

「外販が一時期からは回復傾向にあるも、11月~12月歳末の動向に、全く期待が持てない状況。店頭等、個人 需要がどの程度まで持ち直すのか?。不透明。」

「コロナ禍、世の中の需要に適した製品を作り、業績をUPする。」

「コロナの影響で、展示会などの集客イベントが出来ない為、不調。」

「生産農家の人手不足(外国人労働者)のためか、市場の入荷が極めて少なく、店頭の品揃えが悪いので、年 末の売上が心配。」

く飲食店>

「行政等による観光地及び、飲食業支援又、感染防止緩和により、今の所、コロナ流行以前に戻ってきており ますが、ワクチンが出来るまでは不安。」

「コロナの影響で、客足が激減。このまま営業を続けられるか思案中です。ただひとつ、お客さんから、がんばりなさいよと励まされるのが喜びです。これは、天災だと思って、しのぐしかありません。」

「客数が減っている。5人以上の団体が少なく、前年と比べて売上が伸びない。」

「9月の4連休が少し上向きになり、少し良くなってくるかと思ったが、14号の台風位から客足が激減し、今後 の見通しが付かない状況。コロナの終息にかかっている。」

「毎年、夏季はあまり良くありませんが、今年はコロナウイルスの影響もあり、更に悪化してります。とはいえ、4~5月に比べれば、客足も戻ってきつつあるかな。。。というところです。」

「新型コロナによって、4月が最悪でしたが、徐々に良くなり、6月~10月まではほぼ平年並みに戻ってきた。」

「GoToトラベル、イートの影響で好調だが、今後、コロナの状況が不安。」

「愛川町では、10月15日から景気モリアゲ券を町民1人あたり3000円分支給され、10月15日以降はその効果により7月~9月より売上増になっています。モリアゲ券の終了後は、大変厳しいと思っています。」

くサービス業>

「コロナの影響が未だ続いている。週末少しだけ良くなってきた。」

「箱根観光客減で、仕事が無かったが、現在、客足が戻って来ているので、少し期待しています。 (ホテル、 旅館の車の修理が無い。) 」

「新型コロナの不況により、外出抑制等で、車の利用を制限されている方も多く、タイヤ等の消耗部品やエン ジンオイル交換等も少なくなっている。車輛の代替需要も盛り上がりを欠いており、低調です。」

「通勤者減などの社会生活の変化は、コロナ終息後も続くと思い、それに対応していくしか無いと考えます。」

「新規取引先がある一方、飲食店の取引先で契約終了がある。今後もその動きが加速する可能性がある。」

「前期は、コロナの影響で契約開始時期の遅れや、規模の縮小が出ていましたが、<mark>今期になり少し回復してきた感があります。」</mark>

「人々のライフスタイルの変化が起きてしまった。テレワーク等、服を着ての勤務が減っている。人々が出かけて生活を楽しむ機会をもっと増やして欲しい。」

「コロナで売上が減り、スタッフを増やす事が出来ない。先行きも分からない為、新たな募集が出来ず、育成 する事が出来ないので、今後不足するだろうと不安。」

「測量技術者の人口が減少傾向にあり、人気の無い職業と思われているのか、従業員確保が難しく、受注量を 減らさないといけなくなっている。」

「新築住宅は変わらず、リフォームが減少。」